

第10回全国研究集会成功めざして

原発立地県都で初の開催 ー松江ー

2月15日、島根県松江市の「島根県教育会館」で開催された現地島根県実行委員会結成総会並びに第1回実行委員会には、島根県地域人権運動連合会、島根県労働組合総連合、島根県教職員組合、自治労連島根県事務所、島根県民主医療機関連合会等から代表が出席するとともに、全国人権連から丹波正史議長、吉岡昇事務所次長らが出席しました。

結成総会では、片寄直 松江市で開催予定の第10回地域人権問題全国研究会（しまね人権連）事務局長から、今年10月に



第10回全国研究集会第1回実行委員会（島根県松江市）

ても内部協議を経て事前準備会を開いて議論を重ね、本日の実行委員会結成に至った経緯が報告され全会一致で承認、現地実行委員会が正式に発足しました。

結成後たちに行われた第1回実行委員会では、全国人権連を代表して丹波正史議長から、改めて実行委員会結成のお礼が述べられた後、「私たちの組織は、全解連時代は部落問題解決を第一義的に取り組み、21世紀をめざす部落解放の基本方向で部落問題が解決されたといえる4つの指標を示し運動を展開し、今

が行われました。

研究集会の開催日程は本年10月11日、12日。会場は松江市の「島根県民会館大ホール」を確保。

実行委員会では、全国人権連の策定した「地域人権憲章」について全国研究集会で取り上げ普及していくことの重要性や島根独自の取り組みや課題等も研究集会の場で一定報告できるようにしていくことも今後の企画会議等で議論していくことも確認されました。



松尾寿実行委員長

行委員長に竹永三男島根大学教授と大西修しまね人権連議長、事務局長に片寄直と力を合わせて10月に松江市で開催される第10回地域人権問題全国研究会を成功させたい」と決意を表明し、今後課題毎に議論を整理していくことが重要だと述べました。

直行しまね人権連事務局長を選出しました。実行委員会をより豊かにする事務局員の選出も行われました。

松尾寿実行委員長（島根大学名誉教授）は、「実行委員会加盟団体、ご参加いただいた皆さん

**第10回地域人権問題
全国研究集会in松江**

日時 10月11日、12日

会場 島根県民会館大ホール他

実行委員長には松尾寿島根大学名誉教授、副実

実行委員会では5月17日の第2回実行委員会までに、県内の幅広い団体・組織に呼掛け実行委員会をより大きくしていくことと、10月の集会当日までの行程表等も確認し閉会しました。